

県央地区から勲章を受ける人

- 旭日単光章 (地方自治功勞) 井伊直人 (83歳) 元燕市公平委員会委員長 燕市柳山
- 旭日単光章 (地方自治功勞) 木村幹男 (83歳) 元新潟県栄町代表監査委員 三条市若宮新田
- 瑞宝小綬章 (教育功勞) 田中憲一 (70歳) 元公立高等学校校長 燕市吉田大保町
- 瑞宝双光章 (教育功勞) 多賀淳一 (70歳) 元公立小学校校長 新潟市西蒲区川崎
- 瑞宝単光章 (消防功勞) 今井忠太郎 (72歳) 元三条市三条消防団分団長 三条市東三条2
- 瑞宝単光章 (統計調査功勞) 入江一榮 (71歳) 元工業統計調査員 加茂市秋房
- 瑞宝単光章 (消防功勞) 山田栄一 (65歳) 元新潟県分水町消防団団長 燕市源八新田

県央は火の中の水の中の消防団も

内閣府はこのほど、平成二十八年秋の叙勲受章者を公表した。全国では四千五百五人、県内は八十七人の受章が決まった。県央一帯からは燕市吉田大保町三元公立高校長、田中憲一さん(70)の瑞宝小綬章をはじめ七人が栄誉を受ける。

ら単光章まで六段階に分 七人が受章する。の十一人を下回り、一昨 類される。 最近の県内受章は平成 年の五人、昨秋の七人 全国では、桐花大綬章 二十二年春の百一人、同 のほほ中間で、ほぼ平均 的受章者数だった。 専門官で書家の河東純一 専らに伝統工芸品の博 式を予定している。

受章者を対象に七日午後 二時から県庁で叙勲伝達 式を行う。県警察関係は 四日に同じく県庁で伝達 式を予定している。

市と市職員の間の労働問題の調整、解決 合併前の燕市で24年間公平委員

旭日単光章(地方自治功勞)

井伊直人さん(83歳)

元燕市公平 委員委員長 井伊直人さん(83歳) 合併前の旧燕市で公平委員を二十四年にわたって務め、うち 二年二か月は委員長として、市と市職員の間の労働問題の調整 解決に当たった井伊さん。「私のような民間人には縁がないと 思っていましたから、身に余る栄誉だと感激しています」と、 叙勲の喜びを話す。

南波市長に勧められ 小池地区代表として

明治大学卒業して秘書役で 従業員500人のマンモス会社に



井伊さんは昭和八年二 人、女一人、合わせて四 月八日、柳山地区で男三 人きょうだいの長男に生 旧制三条中学校(現・ 務士試験に合 格。 同社は昭和三 十六年に倒産 し、債権者下 で再出発した の、六年後に 大火で全焼し、 実質的に事業を 停止。 井伊さんは社 に毎日出勤。現場は若い

三(高校)から明治大学 商学部を卒業し、親族が 経営していた農機製造 業の小池農機株式会社で 秘書役を務めた。 一時は五百人の従業員 を抱えるマンモス会社 で、三つの組合ができた ことから、これをなんと か一本化できないかと、 労働関係の知識習得に励 み、第一回の社会保険労 務士試験に合格。 同社は昭和三 十六年に倒産 し、債権者下 で再出発した の、六年後に 大火で全焼し、 実質的に事業を 停止。 井伊さんは社 に毎日出勤。現場は若い

昭和45年新会社ミツワ創立

ナンバーワンよりオンリーワン

社員に任せ、相談役に徹 趣味は五十五歳から始 めたゴルフ。年三十五回 ほどグリーンに立ち、「私 も労働条件の不利益処分 は非常に体が弱かったの ですが、ゴルフを始めて から非常に健康になりま した」と笑う。 旧燕市の公平委員に就 いたのは、昭和五十五年 十二月十一日。 井伊さんは「当時は燕 池、小中川から一人 ずつの三人の公平委員が 選ばれ、私は小池代表と いうことで、保育園の父 母会長から、小、中学校 とPTA会長をやってお り、当時の南波市長と出 会いの場が何回かあった のを縁に、絶対に引き受 けると勧めていたのだらう がきつなくて、二十何 年も務めることになりま した」と振り返る。 公平委員とは、地方 自治法及び地方公務員法 に定められた市職員の勤 務条件に関する措置の要 求及び市職員に対する不 利益処分を審査し、これ に必要な措置を講ずるこ と等を職務とする行政委 員会。 井伊さんは「地方分権 の動きが活発になってき たとき、地方公務員に も労働条件の不利益処分 があってはならないと、 市と職員組合の調整役と なっていたのが、公平委 員会の主な任務。私がい た間、燕市の公平委員会 で処理できなかった問題 は、一つもなかった。問 題は年に三、四件。辞め て三か月も経過してか ら退職までの 二年二か月、委員長を務 めた。 こうした功績が認めら れての叙勲に井伊さん は、「叙勲は国家公務員 や地方公務員を長く務め た人のものだと思ってい ましたから」と、喜びの 声。 皇居での拝見には妻 の孝子さん(70)と参加す る。(燕市柳山)

3つの組合の一本化に 労働問題の 知識習得 社会保険労務士に合格

井伊さんは社 に毎日出勤。現場は若い

桐花大綬章	旭日章	瑞宝章	合計
1 (0)	7 (0)	0 (0)	8 (0)
重光章	17 (0)	34 (0)	51 (0)
中綬章	43 (0)	257 (4)	300 (4)
小綬章	200 (6)	701 (8)	901 (14)
双光章	560 (26)	998 (125)	1,558 (151)
単光章	100 (13)	1,137 (207)	1,237 (220)
計	1 (0)	927 (45)	3,127 (344)
銀杯	0 (0)	0 (0)	0 (0)
木杯	0 (0)	0 (0)	0 (0)
合計	1 (0)	927 (45)	3,127 (344)

かっこ内は女性の数で内数

<都道府県別等受章者数>

都道府県	桐花	旭日	瑞宝	計
北海道	50	188	238	
青森県	14	53	67	
岩手県	11	62	73	
宮城県	22	92	114	
秋田県	15	54	69	
山形県	16	38	54	
福島県	18	55	73	
茨城県	27	75	102	
栃木県	17	40	57	
群馬県	22	36	58	
埼玉県	34	156	190	
千葉県	28	174	202	
東京都	70	324	394	
神奈川県	34	178	212	
新潟県	23	64	87	
山梨県	11	40	51	
静岡県	12	43	55	
愛知県	18	26	44	
岐阜県	10	17	27	
長野県	20	45	65	
富山県	16	39	55	
石川県	33	58	91	
福井県	37	113	150	
滋賀県	16	38	54	
京都府	9	32	41	
大阪府	19	68	87	
兵庫県	32	106	138	
奈良県	39	88	127	
和歌山県	16	41	57	
鳥取県	14	31	45	
徳島県	9	23	32	
香川県	4	22	26	
愛媛県	23	80	103	
高知県	12	54	66	
福岡県	10	34	44	
佐賀県	13	50	63	
長門県	12	44	56	
熊本県	12	23	35	
大分県	22	107	129	
宮崎県	6	26	32	
鹿児島県	11	45	56	
沖縄県	21	47	68	
小計	15	32	47	
計	8	26	34	
小計	18	55	73	
小計	7	28	35	
小計	915	3,124	4,039	
アメリカ	1	0	1	
アルゼンチン	1	0	1	
インドネシア	0	1	1	
ウズベキスタン	0	1	1	
オーストラリア	1	0	1	
オーストラリア	1	0	1	
トルコ	1	0	1	
パラグアイ	2	0	2	
ブラジル	4	0	4	
フランス	0	1	1	
ブルガリア	1	0	1	
ペルー	1	0	1	
小計	13	3	16	
合計	928	3,127	4,055	

<年齢層別受章者数>

年齢層	瑞宝章	合計
0.0%	30人	0.7%
0.0%	176人	4.4%
0.0%	376人	9.3%
0.0%	(582人)	(14.4%)
3.6%	1,465人	48.4%
9.2%	683人	23.5%
7.2%	397人	13.7%
0.0%	(2,545人)	(81.4%)
合計		(3,473人)

勲章用語凡例

- 桐花大綬章
- 旭日大綬章
- 旭日重光章
- 旭日中綬章
- 旭日小綬章
- 旭日双光章
- 旭日単光章